



あおせん  
乗って残そう未来の栗生線

## 神戸電鉄栗生線活性化協議会

### シンポジウムの開催について

神戸電鉄栗生線活性化協議会（会長：三木市副市長 北井信一郎、以下「協議会」）では、栗生線とまちの将来について考えるシンポジウムを下記のとおり開催します。

また、本シンポジウムのプレイベントとして開催している「栗生線活性化グランプリ“栗生線・未来へと続くレールコンテスト”」入賞者によるプレゼンテーションや表彰も併せて行う予定としており、栗生線沿線の皆様には、本シンポジウムやコンテストの開催を通じ、神戸電鉄栗生線問題への理解を深めるとともに、これからのまちづくりや、それを支える交通について考えるきっかけとしていただきたく考えています。

#### ■開催概要等

【名 称】 栗生線とまちの将来について考えるシンポジウム

【開 催 日】 平成 26 年 12 月 23 日（祝）

【開催場所】 三木市文化会館小ホール

【定 員】 500 名（予約可）

※ 予約の必要はありませんが、当日 500 名を超えた場合は、入場をお断りする場合があります。

【参加費】 無料

【プログラム】 14:00 開会（13:30 開場）

14:05 V T R 放映【25 分】

栗生線を題材とした映像作品

14:30 基調講演【45 分】

地方創生と鉄道 ～成熟社会のまちづくりをめざして～

宇都宮 浄人 関西大学経済学部教授

15:15 休憩【15 分】

15:30 パネルディスカッション【90 分】

（テーマ）

これからのまち、ひと、暮らし、そして交通

（コーディネーター）

正司 健一 神戸大学副学長（活性化協議会座長）

（パネラー）

玉岡 かおる 小説家

佐伯 武彦 北条鉄道㈱副社長（元川崎重工業㈱副社長）

宇都宮 浄人 関西大学経済学部教授

※ 上記のほか、コンテスト受賞者等の参加を計画しています。

17:00 休憩【10分】

17:10 プレゼンテーション・表彰【25分】

粟生線活性化グランプリ“粟生線・未来へと続くレールコンテスト”  
最優秀賞（施策提案部門および利用促進・啓発活動部門）

17:40 閉会

【実施体制】 《主催》神戸電鉄粟生線活性化協議会

《共催》兵庫県、神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄

【予約・問い合わせ】 神鉄コミュニケーションズ TEL078 (521) 0321（平日10:00～17:00）

【パネラー等のプロフィール】

● 正司 健一氏（神戸大学理事・副学長）

兵庫県神戸市出身。神戸大学大学院経営学研究科博士前期課程修了。

神戸大学大学院経営学研究科教授、2009年から現職を兼ねる。

『都市公共交通政策』（千倉書房、2001年）で日本交通学会賞、国際交通安全学会賞受賞。

“The Effect of Governmental Subsidies and the contractual model on the Publicly-owned bus sector in Japan”, *Research in Transport Economics*, 2009, 29(1), (co-authored with H. Sakai) 他論文多数。

● 宇都宮 浄人氏（関西大学経済学部教授）

兵庫県西宮市出身。京都大学経済学部卒業。日本銀行勤務の後、2011年から現職。

『鉄道復権』（新潮選書）で第38回交通図書賞、『路面電車ルネッサンス』（新潮新書）で第29回交通図書賞受賞。

共著に『経済統計の活用と論点』『世界のLRT』『LRT—次世代型路面電車とまちづくり—』など。

● 玉岡 かおる氏（小説家）

兵庫県三木市出身。神戸女学院大学卒業。

1989年神戸文学賞受賞の『夢食い魚のブルー・グッドバイ』（新潮社）で文壇デビュー。著書多数の中、(1)幻の名画コレクションに材を取った『天涯の船』をはじめ、(2)巨大商社・鈴木商店の女主人の一代記『お家さん』、(3)生野銀山を舞台に国家と人間の近代化を描いた『銀のみち一条』（いずれも新潮社）は、“明治三部作”として反響を呼んでいる。

兵庫県教育委員、(社)日本河川協会理事、兵庫県景観形成審議会議員、兵庫県美術館運営会議委員など行政の委員も数多く務めるほか、テレビ・ラジオのコメンテーターとしても活躍。

● 佐伯 武彦氏（北条鉄道株式会社副社長）

兵庫県加西市出身。姫路工業大学（現兵庫県立大学）卒業。

川崎航空機工業（現川崎重工業）株式会社入社。常務、副社長などを歴任。2011年北条鉄道取締役就任の後、2012年から現職。

川崎重工業時代に生産部門を再生させた経験などを活かしつつ、また地域をうまく巻き込みながら北条鉄道の再生に無報酬で取組中。

(添付書類)

平成 26 年 3 月 27 日付リリース

粟生線活性化グランプリ「粟生線・未来へと続くレールコンテスト」を開催します

以 上

---

お問い合わせ先	三木市 まちづくり部美しいまちづくり課	(0794) 82-2000
	神戸市 住宅都市局計画部計画課	(078) 322-6885
	小野市 総合政策部交通政策グループ	(0794) 63-1000
	兵庫県 県土整備部県土企画局交通政策課	(078) 341-7711
	神戸電鉄株式会社 鉄道事業本部企画部	(078) 592-2221

ニュースリリース配付先 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、神戸市政記者クラブ、  
兵庫県政記者クラブ、三木市政記者クラブ、小野市日刊市政記者クラブ、  
三田市政記者クラブ



あおせん  
乗って残そう未来の栗生線

## 神戸電鉄栗生線活性化協議会

沿線の高校生や関西の大学生を対象に、

### 栗生線活性化グランプリ「栗生線・未来へと続くレールコンテスト」を開催します。

神戸電鉄栗生線活性化協議会（会長：三木市副市長 北井信一郎、以下「協議会」）では、沿線の高校生や関西の大学生を対象に、栗生線の維持・存続に向けての「提案」や「取り組み」を競い合って頂くコンテストを開催いたします。

栗生線が存続するためには、神戸電鉄の自助努力や行政の支援に加え、地域にお住まいの方が存続に向けて主体的な行動を起こしていくことが重要です。しかし、残念ながら、一部の市民団体や高校生、大学生を除けば、栗生線の存廃問題を自らの問題として捉え、主体的な行動へと移して頂ける方は少なく、地域として存続運動も盛り上がっていないのが実情です。

そこで協議会では、未来の利用者でもある高校生や大学生の意見に耳を傾けるとともに、実際、彼らが栗生線の存続に向け、自らにできることを考え、実践している様子を知って頂き、沿線の皆さまにも主体的な行動を起こすきっかけとして頂きたいとの思いから、以下の通り、コンテストを行うことにしたものです。

#### ■開催概要等

【名 称】 栗生線・未来へと続くレールコンテスト

【内 容】 次の2部門でコンテストを実施します。

##### 『施策提言部門』

栗生線が利用されなくなった理由—人口動態の変化（人口減少、少子高齢化、生産年齢人口の減少）、車中心の都市構造やライフスタイルへの転換、他の交通機関との競合、インターネット・SNS等の普及に伴う外出機会の減少等—について学習をして頂いた上で、それら問題の解決に向けた提言をして頂き、その内容を競って頂きます（提言を行うテーマは1つでも、複数でも構いません）。

##### 『利用促進・啓発活動部門』

栗生線ならびに沿線の活性化について自分たちができることを考え、実際に行動した内容を競って頂きます。なお、本部門では、直接的な利用促進・啓発効果を競うだけでなく、学生らしい視点、独創性、周りへの影響力等に重点を置いた審査を行う予定です。

- 【募集期間】 平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 10 月末日
- 【賞品等】 最優秀賞 10 万円（各部門とも 1 組）のほか、市長賞、審査員賞等を設定
- 【応募資格】 ①大学生または沿線高校生が複数人で応募すること  
 ※ 個人で参加することはできません。  
 ②『施策提言部門』に参加の場合は、協議会が指定する講義・セミナー等を受講すること
- 【応募方法】 各部門とも、提案や取り組みの内容を書面（提案内容の概略がわかれば、形式や枚数等は問いません）にして、事務局までご提出ください。
- 【審査方法】 協議会事務局が①書類審査を行い、②書類審査を通過された方からプレゼンテーションをお受けいたします。その上で、③学識経験者、有識者、協議会委員等に審査をお願いします。
- 【発表等】 優秀な提案や取り組みは、協議会ホームページや啓発冊子等においてご紹介させて頂くほか、別途開催予定の栗生線の活性化に関するシンポジウムにおいて発表をして頂き、表彰も行う予定です。
- 【応募窓口】 三木市まちづくり部美しいまちづくり課  
 〒673-0492  
 兵庫県三木市上の丸町 10 番 30 号  
 電話：0794-82-2000（代表）  
 FAX：0794-82-9625

---

お問い合わせ先	三木市	まちづくり部美しいまちづくり課	(0794) 82-2000
	神戸市	企画調整局企画調整部調整課	(078) 322-5039
	小野市	総合政策部交通政策グループ	(0794) 63-1000
	兵庫県	県土整備部県土企画局交通政策課	(078) 341-7711
	神戸電鉄株式会社	鉄道事業本部企画部	(078) 592-2221

ニュースリリース配付先 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、神戸市政記者クラブ、  
 兵庫県政記者クラブ、三木市政記者クラブ、小野市日刊市政記者クラブ、  
 三田市政記者クラブ